

結果報告 ①

2510105 大社日御碕線 道路災害復旧工事(6災105号)第1期



けんせつ小町パトロール隊として、安全衛生面のパトロールを行いました。

現場事務所は、広々とした空間で清掃が行き届いていました。ゴミの分別も適切に行われており、蓋つきのゴミ箱を使用しておられました。ここには水道がないため、飲料水としてウォーターサーバーが設置されていました。

現場事務所は大社日御碕線通りに面した平地にあるため、大雨の後は山側から泥が流れ込むので道路汚染対策を徹底されていました。随時清掃が行われており、周辺環境への配慮がなされていることが確認できました。【工事進捗率:65.9%】

工事概要の説明



工事情報を発信しているQRコードが掲載された看板がありました。



前日の大雨により汚れた道路を清掃されていることがうかがえました。



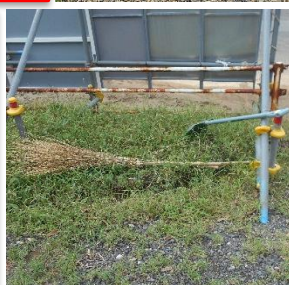
【指摘事項】
倉庫周辺に資材が置かれていましたが、倉庫内で保管をお願いします。
(倉庫下の看板・倉庫横の矢印板および鉄筋)



【指摘事項】
コンテナ横に多数の土のう袋が置かれていましたが、土のう袋の周囲に囲いを設けて「資材」または「廃材」などの明示をお願いします。



【指摘事項】
現場事務所出入口前の一部に、先日の雨の影響でぬかるんだ泥が堆積していました。除去清掃の実施をお願いします。



【指摘事項】
現場事務所の工事看板の裏に、ほうきとスコップが放置されていたので、所定の場所に片付けをお願いします。
【提案】マルチハンガークランプタイプを活用して収納してはいかがでしょうか。



【指摘事項】
現場事務所に設置されている、工事看板周辺の草刈りをお願いします。



【指摘事項】
現場事務所の喫煙場所が、倉庫やトイレの出入口付近に設置されていました。受動喫煙防止のためにも、出入口から離れた場所への移動を検討してください。



【指摘事項】
現場事務所に掲げている、社旗と安全旗の交換をお願いします。

〈現場および現場事務所周辺の様子〉



この現場は、昨年7月の大雨により路面が崩落した県道大社日御碕線における災害復旧工事です。今回の第1期工事では、崩れた道路より上にある地山の掘削工・法面工を行います。地山が崩壊する危険性が高い箇所での施工であるため、掘削作業には「斜面安全掘削工法」を採用し、安全に配慮して施工されました。現在は掘削作業と吹付法枠が完成し、鉄筋挿入工を施工されています。当日は、鉄筋挿入工の適正試験が実施されていました。安全帯およびライフラインの使用、削孔機使用時の手元確認・合図の徹底などの安全対策が適切に実施されていました。「当日の安全指示事項」が作業員の方に確実に伝わっており、安全な施工方法を提案しながら職員・協力業者一丸となって安全意識の高い作業が行われていることが分かりました。



クレーン作業半径内への立入禁止措置が実施されたうえで、アウトリガー周辺についても囲いと立入禁止措置の明示を行い安全対策の強化が図られていました。

現場にもQRコードを設置しています。



鉄筋挿入工



日御碕への観光客増加に伴い車通りも多い中、片側交互通行規制内で作業が行われていました。交通誘導員を適切に配置されており一般車両同士の交通事故防止にも十分に配慮されていることが確認できました。



——熱中症対策——

熱中症対策が非常に充実しており、飲料水の配付、塩分補給のための飴・タブレットの準備にわえ、作業前・作業中にはアイスラリーやかき氷の摂取によるプレクーリングも実施されていました。作業員の快適な作業環境を確保するため、エアコンハウスが設置されており、交通誘導員に対しては誘導個所に日除けパラソルも設置されていました。これらの対策から、作業員の体調管理と熱中症予防に対する意識の高さがうかがえました。「熱中症処置手順」と「熱中症連絡体制」が掲示されており、関係者全員に的確に周知されていました。



現在、全国労働衛生週間準備期間です。1日の寒暖差が激しく、体調管理が難しい時期です。今後も熱中症対策を万全に行ったうえで、体調管理にも十分気を付けていただき、このまま無事故・無災害で竣工できることを心から願っています。皆様ありがとうございました。ご安全に！！

